

Continue

YUTACOLOGY'S communication press

vol. **37**
2025 AUTUMN



Bing image creatorを使用して制作したAI生成画像です

巻頭対談

挑戦と発見で人生を輝き続ける

株式会社AgeWellJapan 代表取締役 赤木 円香様

特集

第25回 安全宣言の日を開催しました

挑戦と発見で 人生を輝き続ける

2030ビジョンを掲げ

「Make Tomorrow Go Better - 今日よりも良いと思える明日を創る -」を合言葉に
「建物と人のキレイと健康」に寄与する企業を目指している当社。

人生100年時代をキラキラ・ワクワクで輝きつづけるための
社会のあり方についてお話を伺いました。

幸せには「居場所」と「自尊心」が
大きくかかわっている

酒井 この度はインタビューの機会をご提供いただきありがとうございます。

弊社の主事業であるビルメンテナンス業界は多くのシニアの方々に活躍いただいている業界です。超高齢化社会となった日本で、輝き続けるためのエッセンスを勉強したくお時間を頂戴しました。

まずは、貴社の事業と起業のきっかけを教えてくださいませんか。

赤木 私たちは超高齢社会を問題と考えるのではなく、挑戦と発見を楽しみ、ポジティブに歳を重ねる人を増やす「Age-Well社会」実現にむけた事業を展開しています。具体的には、孫世代の相棒サービス「もっとメイト」や多世代コミュニティスペース「モットバ!」などのコミュニティ創造事業やAge-Wellなサービスやブレイス開発など企業との事業創出を手がけています。幼い頃から憧れてきた祖母が怪我を機に少しずつできないことが増えた際、「ごめんさいね、迷惑をかけて」と周囲に謝る様子を目の当たりにし、人生の最期に感謝されるべきシニア世代が、家族や社会に謝っているのはおかしい。たとえ、加齢により心身脳の衰えがあったとしても、「～やりたい!」や「～ができた!」が多いポジティブな毎日を送って欲しい。そのような想いから起業を決意しました。

酒井 まさに日本が抱える超高齢化社会の課題にチャレンジされているんですね。起業の際はどのようなことから始められたのでしょうか。

赤木 まずは2020年の1月と2月、すごく寒かったですが街頭に立って1人1-2時間の「シニア100人インタビュー」をおこないました。沢山の方からお話を伺う中で、ワクワクしポジティブなシニアの方には「健康」「経済力」「居場所」「自尊心」の4つの要素がある

ことがわかりました。また、「健康」は年齢と言うよりも生活習慣が大きくかかわっていること、「経済力」はこれまでの自分の価値観を大事にされていて、特にシニアだからというものではないことがわかりました。また「健康」「経済力」が満たされているからといって「居場所」「自尊心」が満たされているわけではなく、例えば数年前に大きな病気をされている方でも「居場所」「自尊心」があることで非常にポジティブで充実した生活を送っている方々がいらっしゃるといこともわかりました。起業の経緯からしても、世代間交流で、シニアの方々の「居場所」「自尊心」をサポートし幸せの総量を大きくする事業をおこなっていこうと考えました。

酒井 「居場所」「自尊心」が満たされることが、人生100年時代を輝き続けるキーワードになるわけですね。

赤木 そうですね。この100人インタビューをきっかけに会社のミッション・ビジョンも生まれました。67番目にインタビューしたシニアの方からは、竹内まりやさんの「人生の扉」という歌を教えてくださいました。『君のデニムの青が褪せてゆくほど味わい増すように 長い旅路の果てに 輝く何かが誰にでもあるのさ』という歌詞があるのですが、まさにそう思ってもらえるようなサービスを提供したい!と思いました。また、74番目にインタビューしたシニアの方へ「お出かけはどこにしたいですか?」と質問したところ「(近所にある)青山学院の大学生とお出かけしたい」と回答をいただき、ということかと真意を尋ねると、「百貨店にいくなら体格のいいスタイリッシュな大学生と一緒に行けば、気軽に物を持って頼めるし背筋も伸びるでしょ!」と教えてくださいました。ハッとした気持ちになり、現在のサービスモデルである世代間交流が生まれるきっかけになり、そして、人生100年時代を輝き続けるために、挑戦と発見を楽しんでほしいという、サービスの根っこになりました。

2017年 味の素株式会社に入社し、
2020年1月10日 株式会社MIHARU
(現:株式会社AgeWellJapan)を創業。
インパクトサミット受賞、Forbes選出など。
メディア出演・大企業導入事例多数。
株式会社AgeWellJapan 代表取締役
赤木円香様

株式会社AgeWellJapan
<https://agewelljapan.co.jp/about/>



▲AgeWellJapanのイベントでシニアと対話するAge-Well Designer。
12月6日(土)7日(日)には、東海エリア初開催のイベント
「Age-Well HOSHIGAOKA(愛知・星ヶ丘テラス)」を控えている。

シニアの方は貴重な社会資源であり 日本社会における希望である

酒井 貴社が提唱されるAge-Wellな社会の実現にはどのような課題があるのでしょうか。

赤木 課題は色々ありますが、大きくは日本の年齢を重ねることに対する価値観だと考えています。Age-Wellとは、「自分が主人公の人生を、人生100年時代、最後の1秒まで生きろうぜ!」という思いです。その反対語を考えたとき年齢における差別・偏見・固定概念を表す「Age-ism(エイジズム)」という言葉と出会いました。これは「性差別:sex-ism(セクシズム)」や「人種差別:racism(レイシズム)」と並ぶ世界三大差別の一つです。それほど大きな差別であるにもかかわらず日本人の74%は知らない現状があります。例えば、どうせ耳が聞こえづらいんだろうとか、ピンクの服が着たいのにはしたないと思われてしまうとか、偏見や固定概念が世間一般に、無自覚に広くあるわけです。日本では、年を重ねると若い世代に譲らなければならないという風潮があり、これにより「シニアは社会のお荷物」というような価値観ができあがってしまっています。よくメディアでも見かけますが、社会保険において何人かのシニアを一人の若者が支えているような図も、こういった価値観へ視覚的に誘導してしまいますよね。

シニアの方は貴重な社会資源であり日本社会における希望であると本気で考えています。むしろ持っている知識経験を社会に還元できるはずなのに、社会から卒業させられてしまう。この流れは大きな課題であり、絶対に変えなければならないと思っています。

酒井 貴社でこれまでやってこられた「挑戦」と「発見」にはどのようなものがありましたか。

赤木 例えば、スマートフォンを使ってスターバックスコーヒーのモバイルオーダーにチャレンジしてみたり、店舗に行ってマクドナルドのシェイクを買ってみたり。コンビニでPayPayを使ってみたりとい

う方もいらっしゃいました。スマートフォンを使い慣れている方からすると何でもないことなのですが、初めて挑戦する方からすれば大きな一歩なんです。皆さんそれぞれ色々なチャレンジがありますが、できたときは皆さん本当に素敵な顔をされるんですよ。こういったことの積み重ねで、孫から「イケバア(イケてる婆ちゃん)」と呼ばれるようになったの〜!とすごく嬉しそうに語ってくれる方がいたり。自分一人では難しいと思うことも、一緒にやってくれる人がいて、その気持ちを受け止めてくれるという信頼があれば挑戦しようと思えますよね。

酒井 本当に仰るとおりだと思います。改めて、弊社では多くのシニアスタッフが働いてくださっています。その方々へメッセージをいただけますでしょうか。

赤木 私がシニアの方々と触れあってきて、皆さん実は社会に影響を与えられるものを非常にたくさんお持ちだけれども気付ける環境がないだけ、と常々感じています。私自身のエピソードですが、炊飯器を使わずに鍋でお米を炊く方法を教えてもらったことがあり、目から鱗が落ちるとも感動した経験があります。皆さんにとっては当たり前でも、若者世代が知らないことも多くあります。男性はお勤め先を定年退職されたあと、名刺がなくなると何者でもない感覚になったり、女性は専業主婦をされてきた方は経済的な対価や評価を受け取ってきた経験が少ないことから自尊心が低くいらっしやったりと、同じシニアでも性別で傾向が異なります。しかしながら、先述のとおり、自分には当たり前のことでも多くの人に感動を与えられたり、ご自身の心が動いたりすることがまだまだありますから、ぜひ自信を持って挑戦しつづけていただきたいなと思います。

酒井 弊社スタッフへもアドバイスをいただきありがとうございます。これからもビルメンテナンス事業の主な担い手として活躍いただきたいシニアの方々に、よりキラキラ・ワクワクして就業いただけるような企業になること、またウェルビーイング事業でも幸福の総量に寄与できるようなサービスを提供していこうと決意を新たにすることができました。

本日は貴重なお話をいただき、誠にありがとうございました。



～対談を終えて～

“人生100年時代をどう輝くか”という観点から「今日よりも良いと思える明日を創る(ウェルビーイング)」会社を中期ビジョンに掲げ、誠実・挑戦・共感創造を社是とする当社においてシニアの方々の挑戦をサポートされつつ沢山のワクワクを創造しておられる赤木社長様には多くのことを勉強させていただきました。建物と人のキレイと健康をお届けし、多くの企業様へ貢献できよう尽力してまいります。このような貴重な機会をいただき、ご縁に感謝いたします。

第25回 安全宣言の日を開催しました

概要

8月22日(金) 第25回「安全宣言の日」を開催しました。

13:15-14:45 サイプレスガーデンホテル(金山)

- ・平成12年8月22日に高所作業(3F)からの転落事故を発生させてしまった事から、二度と重大事故を起こさないことを目的に毎年8/22前後に開催。
- ・主要な協力会社様(6社)にも参加いただき、業務における安全について確認しました。
- ・また、毎年実施している安全標語・ヒヤリハット事例の応募作品の表彰も行いました。



酒井代表メッセージ



安全文化を醸成し伝播し続けることが大切だと考えており、それは、事故事例を共有し、原因と対策を知り、自分事として安全を考える機会を得、実践する行動につながるということだと思います。当社としては、社外報【Continue】や安全宣言の日などで、当社の事故事例をすべて公表すること、そして安全標語やヒヤリハット事例の公募と表彰で安全文化醸成に多くの方に参画していただくこと、YouTube動画で注意喚起や安全教育をし続けることを行なっております。

全国ビルメンテナンス協会調査(2024年度)が発表されましたが、2つ大きな特徴があります。

- ①事故数2,160件のうち、1,026件(47.5%)が65歳以上の方。
- ②全体の43.3%が転倒事故。

です。

シルバー世代が多く活躍するビルメン業界では、特に転倒しない筋力作りのためのロコモーション運動の必要性も高まっています。また近年の猛暑により6月から法制化されましたが、熱中症対策も重要です。さらに自然災害、南海トラフ巨大地震を想定したBCPも喫緊の課題ですが、これは今後お客様、関係各社様との連携が必要な分野だと考えています。

引き続き、安全文化の醸成と伝播、そしてご指導のほど何卒よろしくお願い申し上げます。

ご出席協力会社様

- ・株式会社エンカウンター
- ・東郊造園株式会社
- ・株式会社プロマジック
- ・有限会社昭和装備
- ・株式会社パートナー
- ・株式会社リンデンクリーナー

※五十音順・敬称略

業務の安全について

1) コンプライアンス事案

令和7年労働安全衛生規則改正と弊社コンプライアンス事案の共有

2) 弊社内発生事故の共有と再発防止策

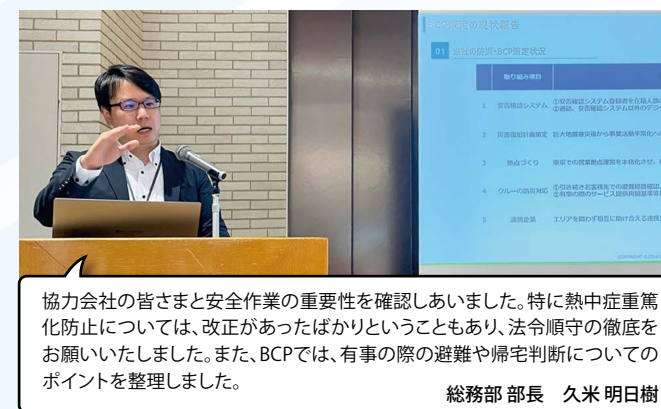
直近1年で発生した事故一覧と事故事例2件の共有

3) 協力会社様へのお願い

法令と契約仕様の順守について

4) BCP策定の現状報告

南海トラフ巨大地震を想定したBCP策定の現状と課題



協力会社の皆さまと安全作業の重要性を確認しました。特に熱中症重篤化防止については、改正があったばかりということもあり、法令順守の徹底をお願いいたしました。また、BCPでは、有事の際の避難や帰宅判断についてのポイントを整理しました。

総務部 部長 久米 明日樹

安全標語・ヒヤリハット事例表彰

- ・弊社内で毎年、この「安全宣言の日」にあわせ、クリーンクルーを含めた全社員から作品を募集している、社内で最も多くのスタッフが参加するイベント。
- ・今年は安全標語が80作品、ヒヤリハット事例は46作品の応募がありました。

安全標語



あわてない 目くばり気くばり 指差呼称

120040 荒木 正江さん(ウインズ名古屋)



備えれば どんな時にも 事故は無し

367215 鈴木 訓子さん(三河教育センター)



忘れるな ヒヤリと感じた その作業

1001178 森 みなみさん(ウインズ名古屋)

あわてず・あせらず・つまずかず・
今日も一日ゼロ災害

101139 大和 由美子さん(ウインズ名古屋)

まっいいか その気持ちが怪我を生む

1001129 辻本 和子さん(ウインズ名古屋)

思わぬ事故やミスはすぐ報告
自己判断はしないこと

6002683 森 浩美さん(バンペール白子)

ヒヤリハット事例



マンション共用部廊下の天井にある
蜘蛛の巣除去作業

1470445 小柳津 徳俊さん(MG末広町II)



不燃物ゴミ(スプレー缶)出し作業

1435694 森 ゆりさん(バンペール新鶴沼)



強風時のゴミカートでの移動作業

1230583 山口 由喜江さん(中部電力緑営業所)

胸ポケットに入れたボールペンの落下

1385903 玉井 裕丈さん(日本ガイシ)

エスカレーター利用時のお客様の行動

1001177 工藤 幸枝さん(ウインズ名古屋)

外周部清掃時の熱中症リスク

1001194 児島 一馬さん(ウインズ名古屋)

その他発表内容

・ISO報告:業務部部长 永田 圭司

主に当社の重点項目と維持管理項目の進捗について報告しました。SDGs経営を掲げる当社は、安全・品質に加えて環境配慮も積極的におこなっていくことで、ステークホルダーの皆さまに安心いただける運営を心がけます。

・各種報告

2030ビジョンの実現にむけ、人材・技術・共創の観点から、働き方改革の推進とそれを支える業務のデジタル化を中心に、多様性のある人材が活躍できる会社になるための現在地を報告いたしました。

ビルメンニュース

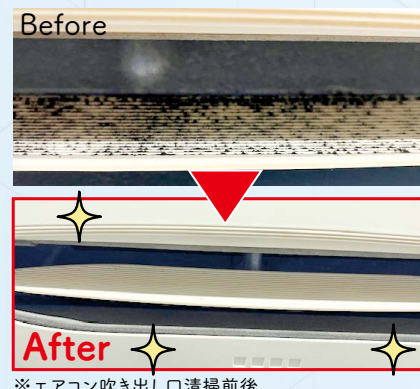
ビルメンテナンスのあらゆる現場を担う業務部より、旬なニュースをお届けします！

BM NEWS

ビルメン作業報告

エアコン洗浄

2日間にわたり計8台のエアコン分解洗浄を実施しました。
 エアコンは使用すると、その仕組みから内部では、実は多くの水滴が発生しています。
 使用頻度にもよりますが、その水滴は空気中のホコリや菌により、カビが発生しやすい環境を生んでしまいます。
 そして、カビ臭さの原因になったり、健康を損なったりと、不快な空間へとつながっていきます。
 建物や利用者様の「快適さの維持・進化・創造」に寄与できるよう、実直に作業にあたっております。



※エアコン吹き出し口清掃前後

トイレの排水口トラップ修繕

建物内トイレ計4か所の床にある排水口トラップ交換を実施しました。
 今回の作業について諸事情から写真でお見せすることはできませんが、長年メンテナンスがされていないトイレにて作業を行いました。経年劣化からワントラップ自体と配管が固着してしまっており、想定よりも非常に大掛かりな作業となりました。
 最悪のケースでは、配管の交換が必要になる場合もあり、想定していない大きな修繕費用が必要となってしまうことがあります。
 美観を保つことはもちろんのこと、建物価値を維持・向上するためのサポートもいたしますので、何かございましたらぜひご相談くださいませ♪

BM NEWS

防災訓練を行いました

9月1日(月)、ユタコロジープ本社にて防災訓練(避難訓練・安否確認テスト・防災グッズ説明会)を行いました。

毎年同様に、南海トラフ巨大地震(震度6強)が発生したと想定し、避難訓練では安全三大運動(TBM/KY、声掛け運動、指差呼称)を意識しつつ、けが人も出たと仮定し、自分自身の安全と同僚の安全という難しい線引きをリアルにイメージすることを大切にしました。

また、防災グッズ説明会では直近1年で購入した製品の使い方を参加社員全員で共有し、事務所にひとりであるときに被災したとしても「使い方がわからない」という社員がいない状況を目指しました。

訓練終了後の振り返りでは、「社屋に残された社員がいないかどこまで確認するか」や「クリーンクルーの多くが普段Eメールを使わない中でどのように安否確認の回答率をあげていくか」などの課題が出ました。

これらの課題は引き続きウェルビーイング委員会で協議し、解決を目指してまいります。



Well-being ニュース

空間と人のキレイと健康へ寄与する事業を推進するユタコロジープ。
 Well-beingな取り組みをお知らせいたします。

REPORT 1 「月経痛体験」セミナーを開催いたしました

ウェルビーイング先進企業でいらっしゃる株式会社ヤマナカ様(名古屋市中村区)で「管理職向け研修-女性特有の健康課題を知ろう-」を開催させていただきました。

今回のセミナーは管理職の方々に女性特有の健康課題を知ることを通じて、従業員皆様のウェルビーイング推進へと繋げていただく目的で開催し、特に専用デバイスを用いた「生理痛体験」では、女性がどのような痛みを抱えながら就業しているかをリアルにイメージいただく契機としていただきました。

参加者からは「月経痛体験を通じて、痛みの感じ方は個人差はあるが、女性はストレスを感じながら仕事をしているとわかった」「周りをより観察して声掛けしようという意識が高まった」というような感想をいただき、非常に盛り上がった研修となりました。

開催した内容をもとに、今後の社内制度設計へ活用いただけるということです。

皆さまのWell-being、ひいては女性活躍のサポートが出来るよう、今後も啓発活動を続けてまいります。



REPORT 2 パーソルホールディングス株式会社様から 弊社のウェルビーイングな取り組みについて取材いただきました



7月25日(金)、パーソルホールディングス株式会社より弊社のウェルビーイングな取り組みを取材いただきました。

パーソルグループ様は、「はたらいて、笑おう。」をビジョンに掲げ、はたらく領域におけるWell-beingの実感向上を目指す取り組みを進めておられます。

この取り組みの一環として、「はたらくWell-being」に対する共感を広げるため、従業員のWell-being向上に取り組む企業の事例を発信されています。

今回はWell-being事業部での取り組み(女性の健康や生きがい、働きがいに資するプロジェクトを継続的に実施している姿など)をご覧いただき、自社の事業領域とWell-beingを本質的に接続させようとする姿勢と実行力について取材いただきました。



パーソルホールディングス様 Webサイト▲

REPORT 3 なごやブランドパートナーに登録しました

「やさしい大都市」をブランドコンセプトに、人や企業から選ばれる名古屋を目指している想いに賛同し、この度ブランドパートナー登録をおこないました。

弊社が提供できるコンテンツやお客様とのコラボ企画など、様々な形で名古屋市と連携し、PR・発信をおこなってまいります。

ひいては、お客様の価値向上に寄与できるように、社会にお役立ちできるよう、いっそう研鑽してまいります。



REPORT 4 健康支援サービスを導入しました（福利厚生）

ユタコロジー株式会社様

大切な従業員様へ プレコンセプションケア 取り組みませんか？

「プレコンセプションケア」とは...？

将来の妊娠やカラダの変化に男女で備えるヘルスケアです。
より健全な妊娠・出産のチャンスを増やし、
次世代の子どもたちをより健康にすること。

セルフケアの一つの手段として、**AMH検査**を受けることが有効です。

AMH検査とは...？

発育途中の卵胞から分泌されるホルモンの値を範囲で計測し、
卵巣の中に残っている卵子の数を推測する血液検査です。

AMH検査の目的

- ・今の自分の状態を把握できる。
- ・ライフプラン設計に役立てられる。
- ・働く女性にとって、「今の自分の状態」や「いつまで妊娠できるのか」を知っておくことは重要です。

卵子の数と質

加齢とともに減少...

10歳 20歳 30歳 40歳 50歳

● 状態が良い卵子 ● 状態が悪い卵子

■ 数に限りがある ■ 加齢と共に減少 ■ 増えることはない

にしたんARTクリニック健康支援サービス

①無料相談窓口
・土日祝日、全国どこからでも匿名で利用できる無料相談窓口
（女性特有のお悩み、妊娠、不妊など）

②AMH検査（卵巣予備能検査）の無償提供
・最短30分からわかる無料AMH検査

お申込み、ご利用等の
詳細はこちらから

にしたんARTクリニック 検索

にしたんARTクリニック 東京・横浜・名古屋・京都・大阪・神戸・福岡
駅直結/駅近・22時まで診療 全国12院

8月4日から、にしたんARTクリニック/エクソコムグローバル株式会社の提供するプレコンセプションケアに関する支援サービスを導入しました。

プレコンセプションケアとは、将来の妊娠にむけて男女で備えるヘルスケアのことです。

当社のWell-beingセミナーでも発信していますが、2021年時点で不妊を心配したことがある夫婦は39.2%おり、不妊の検査や治療を受けたことがあるという夫婦は22.7%もいます。（国立社会保障・人口問題研究所「年社会保障・人口問題基本調査」）

いまや不妊治療は身近な問題であるということをもまえ、様々な人材に活躍いただける会社を目指している当社としても、相談窓口を含めて制度を整備することとしました。

これにより、弊社正社員はもちろんのこと、非正規雇用スタッフやそのご家族まで以下のサービスを無料で利用できるようになりました。

①女性の健康に関する無料相談窓口

男女問わず女性の健康に関する様々な相談をすることができます。

②AMH検査

発育途中の卵胞から分泌されるホルモンの値を範囲で測定し、卵巣の中に残っている卵子の数を推測する血液検査です。

お客様だけでなく、従業員にとっても「今日よりも良いと思える明日」を提供できる会社になれるよう、引き続きウェルビーイングな取り組みを続けてまいります。

REPORT 5 DEXPO2025東京夏に出展しました

前号で掲載した名古屋展示会に続き、同東京展示会（8月20日21日@東京ビッグサイト）に参加いたしました。

前回同様に「健康経営・働き方改革」カテゴリで出展し、主に関東エリアの企業様と商談を行いました。

健康経営では、優良法人認定を継続されたい企業様からこれから健康経営を始められる企業様など、様々なお困りごとに対応させていただきました。

また、働き方改革では、女性活躍を中心としたウェルビーイング推進コンテンツを紹介させていただき、多くのお客様から好評をいただきました。

東海エリアだけでなく、関東の企業様へも精一杯サポートさせていただくとともに、ウェルビーイングな社会実現にむけて尽力してまいります。

